

2023

9.20 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_x-pVfwxzReqOx6uzKDTd1A

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

なぜ、40-50 代のネットワーク研究者はセキュリティ被害にあわないのか。

司会：銭 琨 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)



Key Words

インターネットの歴史

セキュリティ被害

セキュリティに強い人

岡村 耕二 教授

九州大学 情報基盤研究開発センター 先端サイバーネットワーク研究部門



私は、1990年に九州大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程を修了し、三菱電機株式会社に就職しました。その後、奈良先端科学技術大学院大学に転職し、神戸大学を経て、1998年に九州大学に戻って参りました。大学の時からコンピュータ・ネットワークの研究を行っており、神戸大学からはいわゆる計算機センターに勤め、キャンパスネットワークの運用管理に自分の専門性を活かして参りました。2000年に始まった日韓光ファイバーに関するプロジェクトに参画し、これをきっかけとして、九州大学病院の清水先生らとアジア、世界にまたがる国際広域インターネットの活用に関する研究を行いました。2016年に今までの大学でのネットワーク運用の一環で行っていた学内のセキュリティ対策の技術を評価して頂き、九州大学にサイバーセキュリティセンターを設置し、以降は、セキュリティの研究・教育も行っています。

インターネットが実用化されて、30年くらいになります。いうまでもなく、ネットワーク・リテラシはあらゆる分野での競争力に強い関係があります。現在では、セキュリティは、ネットワーク・リテラシの中でも重要な位置を占めますが、新しい攻撃手法で被害者は後を絶ちません。そのような中で、インターネットの黎明期にその研究をしていた人はセキュリティ被害にほとんどあいません。この講話では、インターネットの歴史を紐解きながらそのことについて掘り下げてお話ししてみようと思います。